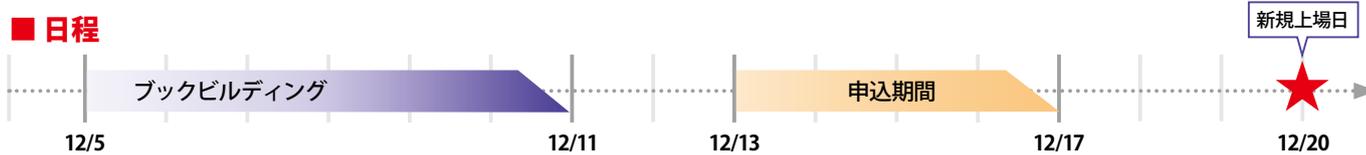


IPO銘柄 ユーグレナ (2931・マザーズ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
2931	100株	公募: 50.0万株 売出: 5.05万株 (OA8.0万株)	1,580円~1,700円 (17.0倍)	SMBC 日興証券



ユーグレナの研究・培養や関連商品の開発などを展開

■ 事業内容

微細藻ユーグレナ (和名: ミドリムシ) に関する研究・開発や大量培養、品質の管理、関連商品の販売を手がける東京大学発ベンチャー。食品用途屋外大量培養技術がコア。食料品、化粧品向けなどヘルスケア事業を核に、ユーグレナを活用したバイオ燃料開発などエネルギー・環境事業を手がける。今後、ユーグレナ関連事業を食料、繊維、飼料、肥料、燃料の5分野へ展開し、業績拡大と社会への貢献を目指している。12年9月期第3四半期累計実績の売上高構成比は、ヘルスケア事業が99.8%、エネルギー・環境事業が0.2%。

■ 特徴

ユーグレナの研究は多くの機関から注目されており、同社は東大のほか、大阪府立大学、近畿大学、兵庫県立大学などの国内大学と連携。また、JX日鉱日石エネルギー、日立プラントテクノロジー、清水建設など民間企業との共同研究も進め、ユーグレナの多彩な事業化に取り組んでいる。

アナリストコメント

■ 定量分析

13年9月期の非連結経常利益は前年比25.8%増の4億900万円を計画する。食品向けで健康食品などの販売が拡大しており、化粧品向けもユーグレナの知名度向上に伴って需要が伸びている。また、エネルギー分野での研究開発も推進中。

■ 定性分析

食糧問題やエネルギー問題の解決に寄与する分野としてユーグレナへの注目度は高く、その分野に特化した東大発ベンチャー企業への期待感、話題性が非常に高い。研究開発型の企業ながら収益が黒字に定着している点も評価材料。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は約10億円。株主にベンチャーキャピタルは多いが、そのほとんどには180日間1.5倍、もしくは90日間のロックアップがかかっている。一般的なバイオ株ほどの需給懸念は抱えていない状況。

(小泉健太)

■ 類似企業

ユーグレナ(2931・マザーズ)	予想PER17.0倍 (仮条件上限)
ファーマフーズ (2929・マザーズ)	予想PER32.6倍
AFC-HD アムスライフサイエンス (2927・JASDAQ)	予想PER19.0倍

■ 引受証券

SMBC 日興証券、SBI 証券、みずほインベスターズ証券、藍澤証券、香川証券、マネックス証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
11年9月期(実績)	1,166	58.9	314	71.6	204	12.1	105.4	—
12年9月期(見込み)	1,585	35.9	325	3.5	197	▲3.4	91.6	—
13年9月期(会社予想)	2,291	44.5	409	25.8	254	28.7	99.8	—

※ 12年9月に株式分割(1株→300株)を実施。10年9月期および11年9月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
10年9月期	6,450	669	574	365	297.1	85.9	52.5
11年9月期	7,185	1,235	971	460	450.5	78.6	26.5

※ 10年9月期および11年9月期のBPSは遡及修正

大株主上位(上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	出雲 充	640,200	25.79
2	ジャパン・スプレッド・パートナーズ III 投資事業有限責任組合	405,000	16.32
3	アイビス環境投資事業組合第一号	240,000	9.67
4	インスパイア・テクノロジー・イノ ベーション・ファンド投資事業有限 責任組合	210,000	8.46
5	インスパイア	165,000	6.65
6	東京センチュリーリース	90,000	3.63
7	鈴木 健吾	69,000	2.78
8	JX日鉱日石エネルギー	60,000	2.42
9	アイザワ・ベンチャー1号投資事業有 限責任組合	45,000	1.81
10	アイビス新エネルギー投資事業組合	45,000	1.81

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	出雲 充
取締役(研究開発部長)	鈴木 健吾
取締役(マーケティング部長)	福本 拓元
取締役(経営戦略部長)	永田 暁彦
取締役(総務人事部長)	多喜 良夫
監査役(常勤)	玉置 雄三
監査役	小林 三郎
監査役	木村 忠昭

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO^(※1) レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング^(※2) が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場する企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会